

【呼びかけ文】

ヒロシマ・ナガサキを語り、受け継ごう

2013年12月

日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）
ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会

広島・長崎の被爆から間もなく70年を迎えようとしています。

この長い間、被爆者のみなさんは体と心に深い傷を負い、不安と苦しみを抱えながらも、原爆は人間に何をなし続けるのかを身をもって告発してきました。核戦争の地獄の体験と、被爆者として生きねばならなかった「生」を通じての命の叫びは、国内外の人びとに原爆被害の実相を知らせ、“核兵器は人間と共存できない”“ふたたび被爆者をつくるな”の声を広げてきました。

平和を求める世界の人々と手をつなぎ、地球上から核兵器をなくすためには、“ノーモア・ヒバクシャ”の志を被爆者とともに共有する人びとの輪をさらに広げていかなければなりません。

日本被団協とノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会は、被爆者とヒロシマ・ナガサキを語り、受け継ぐことを呼びかけます。被爆者と受け継ぎ手が協力して、被爆者一人ひとりの声に耳を傾け、語り合い、記録に残す、被爆の体験の継承を取り組んでいきましょう。

そして取り組んだ成果を世界と未来にむけて、それぞれの地域から発信していきましょう。

【呼びかけに賛同いただいた団体：五十音順】（2013.1.20 現在）

映画演劇労働組合連合会、核戦争に反対する医師の会、京都「被爆2世・3世の会」、高校生平和ゼミナール全国連絡センター、コープネットグループ労働組合、埼玉県生活協同組合連合会、三多摩子育て・教育問題連合会、世界の子どもたちの平和像（東京）の会、全国保険医団体連合会、生活協同組合ユーコープ、全日本民主医療機関連合会、千葉県原爆被爆者の被爆体験聞き取り活動実行委員会、千葉県民主医療機関連合会、東京高校生平和ゼミナール、東京総合教育センター、東京都生活協同組合連合会、東京平和委員会、日本生活協同組合連合会、日本婦人団体連合会、兵庫民主医療機関連合会、平和・国際教育研究会

「ヒロシマ・ナガサキを語り受け継ぐつどい」ご参加のみなさまへ

2013年12月14日

ヒロシマ・ナガサキを語り受け継ぐつどい

1. それぞれの地域、身近なところで被爆者の証言に耳を傾け、語り合う場をつくりましょう。
2. 被爆者の証言、受け継ぎ手の思いを記録に残し、それぞれの地域から発信していきましょう。
3. 「ヒロシマ・ナガサキを語り受け継ぐネットワーク」に参加してください。また、それぞれの地域で取り組みを結びゆるやかなネットワークをつくりましょう。

■「ヒロシマ・ナガサキを語り受け継ぐネットワーク」の次回日程

日程：2014年2月15日(土)13:30～15:30

場所：主婦会館プラザエフ5F会議室



内容：

- 12/14 ヒロシマ・ナガサキを語り受け継ぐつどいの振り返り
- 発信、ネットワークづくりの進め方

などについて話し合います。